

概要報告

実施期日	8月4日(金)
部会名	小学校 総合的な学習の時間部会

神奈川県研究主題

「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」

テーマ

『自ら課題を見つける力の育成』

提案概要

◎研究主題は「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」

研究主題に迫るための視点は2点

視点①子どもが学習を見通しながら追求し、自己調整を行いながら課題解決を行う

・地域教材を生かした課題設定の工夫 ・個での学び⇄共有 ・振り返りノートの活用

視点②相手意識をもった授業づくり

・誰に発信していくのか

これらの視点から、研究主題「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」に迫っていった。

視点①にある課題設定の工夫は、自地区を調べる中で「地域の人口減少」「テーマパークの閉園」「中学校の統合」など、自らの住む地区が衰退しつつあることへの課題意識をもたせることによって、「三浦市の魅力を発信して盛り上げていこう」と、課題解決の学習のスタートアップを図った。この課題は大きく「観光」「産業」「歴史」「自然」の4つのテーマに分別し、自分の興味のあるテーマから調べ、発表を行った。自分の興味があるテーマを個人で調べたもののため、主体的に取り組むことが出来ているが、発表時に調べた内容を同テーマの児童同士で統合していく際の難しさがある。

視点②の「誰に発信していくのか」は、教師の目指す児童像に関わる部分であり「個人で取り組み、自力解決させる力の育成」に迫るものである。学習のPDCAのサイクルを回すAction部分に必ず発表を入れていくことで学びの調整を児童自らがを行い、主体的に取り組むことが出来ている。

◎研究した成果と課題

成果

視点①においては、自分たちの地域に目を向けることでより主体的に課題解決をすることが出来ていた。また、個人で取り組むことで自分のペースで進め、振り返ることが出来ていた。共有にあたっては、自分のもつ課題に対して相手の考えを聞く時間を設けていたことで、知識的概念の構築に繋がっていたと考える。

視点②においては、相手意識をもつことで相手の立場に立つ大切さを感じ、自らの発表方法を変えるなど学びの調整を行うことが出来ていた。

課題

視点①においては、個々のテーマが違うため教師側の支援が困難である。また、個人の能力差もあるため児童間にペースの差が出来てしまう。個々の興味によるテーマの取り組みのため、作り上げていくものを共有するときには相手のものに対して攻撃的になったり、相手に何を質問したらいいのか分からなかったりする場面がある。

視点②においては、相手に伝えるための工夫として効果音などに興味を引かれすぎて本目標からずれていく場面があった。

質疑応答

質問 授業の中で情報の収集を子どもたちが行う際、どこまで授業計画に組み込んでいるのか。

回答 情報収集の際に子どもから出てきた収集方法を、教師側が全て想定し用意していた訳ではないが、子どもたちが主体的に取り組んでいく中で、探究するプロセスとして入ってきた。

協議の柱及び協議・概要

① 個での学びと共有の方法

- ・授業支援アプリ等を活用し、途中経過も共有していくといいのではないかな。
- ・グループで取り組んでしまうと動けない児童もいるのではなはいかな。
- ・個でのテーマの設定方法はどのようにして行っていくのか。

→大きなテーマのもと、児童の興味をもった地域教材・課題に目を向け設定を行った。

② 振り返りの方法や手立て

- ・振り返ったことを全体で振り返り、シェアしていくといいのではないかな。
- ・毎回書かせることは難しいのではないかな。（節目で振り返っていく方が、効果的な気がする。）

まとめ概要

4つの手立てが効果的であったと考える。本実践が児童の実態を踏まえたことが何より功を奏しているのではないかな。総合的な学習の時間の指導計画を立てるにあたって重要な「児童の関心や疑問」、「教師の願い」、「教材の特性」を意識して組み立てたことから進められた実践となっていた。

振り返りに関しては、指導要領解説に「児童自身が進歩や成長に自ら気づくためのもの」とある。この部分に対して、振り返りを効果的に取り組むことによって一人ひとりの学びや成長の様子を捉えることができていた。しかし、本実践では「振り返りノート」には2学期から取り組んだとあるため、1学期から総合的な学習の時間に限らず取り組み、振り返ることに慣れておければよかった。また、振り返り内容から学びで得たものを自覚したり、思考したり、新たな課題に気づくことはもちろんのこと、粘り強く取り組み自らの課題を調整する、「主体的に学習に取り組む態度」や「学びに向かう力、人間性等」を伸ばすことができる。